

【家の中の安全対策】

家の中には地震の時に危険となる物が沢山あります。地震時に室内の家具が倒れ、いざ避難しようとした時に家具が出口を塞ぐ様な事もあり、日頃から家具等を固定する安全対策が必要です。出来る事から実践し、たえず見直しながら安全を高めて行きましょう。

■ 家の中の安全対策ポイント

■ 家の中に、家具のない安全なスペースを確保する

部屋が複数ある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースが出来る様に配置を換える。



■ 寝室や「子供・高齢者・障害者」が居る部屋には、倒れそうな家具を置かない

就寝中に地震が発生した場合、子どもや高齢者、障害者などは倒れた家具が妨げとなって逃げ遅れるおそれが高いので注意する。どうしても置かざるを得ない時には食器棚や家具、テレビなどは固定する。



■ 出入り口や通路には物を置かない

いざと言う時安全に避難できる様に、玄関等の出入口や、そこに至る通路には倒れやすい物を置かない。



■ 家具の転倒や落下を防止する対策を講じる

家具と壁や柱の間にスキマがあると倒れやすく危険。また家具の上に落ちやすい物を置かない。



● 食器棚

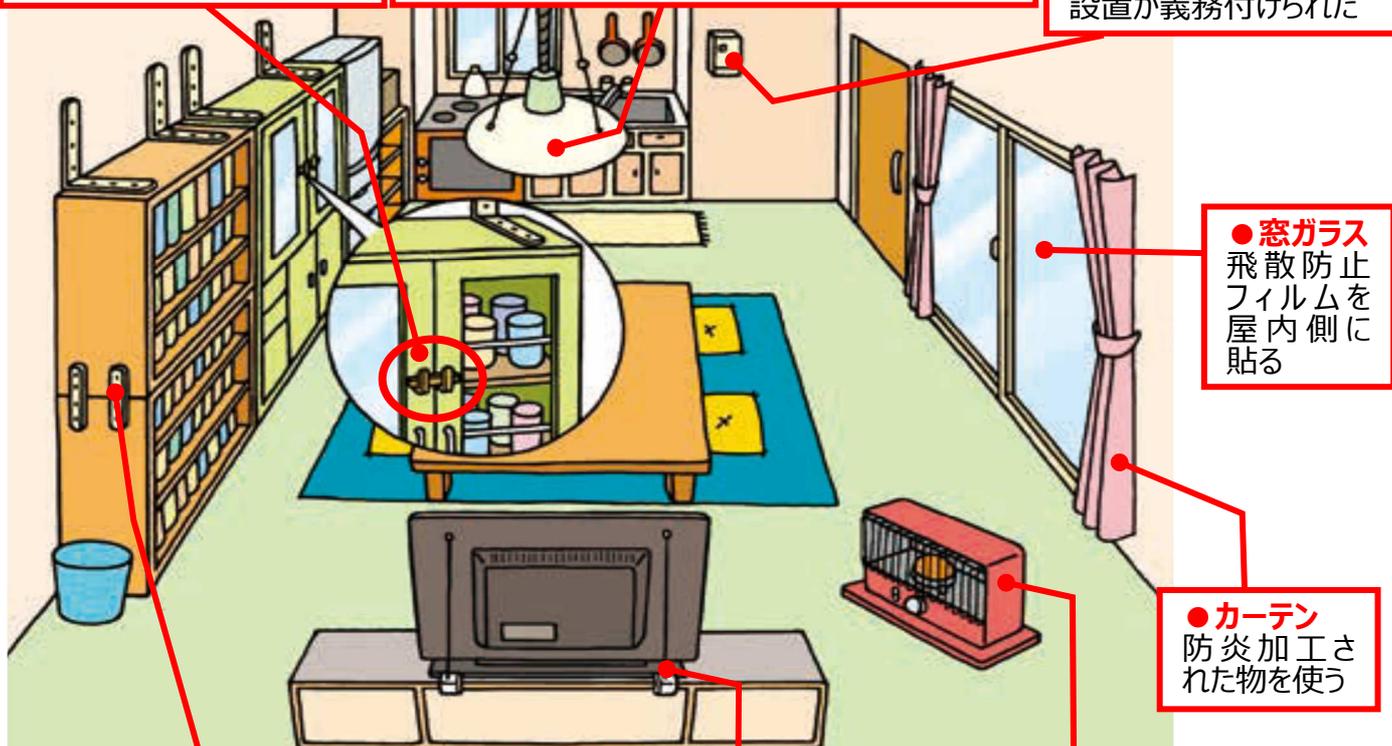
扉が開かないよう金具を付け、扉が開いても中の食器が飛び出すのを防ぐ

● 天吊り照明器具

1本のコードで吊る照明は、鎖と金具で3ヶ所以上留める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。(直付けタイプがより安全)

● 住宅用火災警報器

煙や熱を感知すると警報音で知らせくれる。消防法改正で家庭でも設置が義務付けられた



● 窓ガラス

飛散防止フィルムを屋内側に貼る

● カーテン

防災加工された物を使う

● 本棚・タンスなど

なるべく壁面に接近させ、上部をL字金具で固定する。二段重ねの場合は、繫目を金具で連結する

● テレビ

出来るだけ低い位置で、金具やロープ、装着マット等で下面・柱・壁に固定する

● 暖房器具

ストーブ等の暖房器具は対震自動消火装置のある物が確認する

【各家庭で次の様な「備蓄」をし、持ち出せる様にしておきましょう!!】

《飲料水・食料》	⇒ 3日×人数分 以上を目安に備蓄 <input type="checkbox"/> 飲料水 (1人1日3リットル) <input type="checkbox"/> 食料 (缶詰・レトルト食品・カップ麺・乾パン・長期保存食等)
《生活用品》	<input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ブランケット <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> サランラップ <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> トイレトペーパー <input type="checkbox"/> 卓上カセットコンロ & 替ボンベ
《医薬品・衛生用品》	<input type="checkbox"/> 処方箋薬 <input type="checkbox"/> 絆創膏・ガーゼ・包帯 <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> 常備薬 (鎮痛剤・胃腸薬等) <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> マスク
《避難グッズ》	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> スリッパ・靴
《情報グッズ》	<input type="checkbox"/> 携帯電話 (充電器等含む) <input type="checkbox"/> 乾電池 (多めに用意) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
《貴重品》	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑
《衣類》	<input type="checkbox"/> 下着・靴下 <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> タオル・バスタオルなど
《あると便利な物》	<input type="checkbox"/> 新聞紙・段ボール <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 安全ピン <input type="checkbox"/> バイク・自転車

※詳しくは、「内閣府：防災情報：災害の備え」のホームページを確認して下さい。

【参考】：http://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h22/09/special_01.html

※公的備蓄についての考え方

災害の備えとして食料、飲料水、生活必需品などの備蓄は、各家庭で準備することが原則です。
 しかし、自宅が被災してしまい、準備していた備蓄品を持ち出せない方等の為に柏矢町区/安曇野市としてわずかですが備蓄を行っています。

【参考】

[内閣府：防災情報：災害の備え](#)



避難生活

【在宅避難のすすめ】

災害後、自宅で居住の継続が可能な状況であれば在宅避難をしましょう。

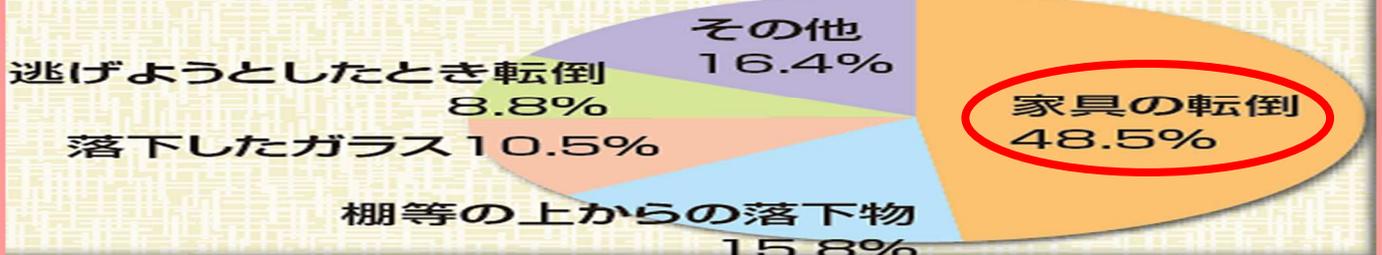
避難所では環境の変化によって体調を崩す人も居ます。事前に住宅の耐震化を行い、食料や水等必要な物を日頃から備蓄し、可能な限り在宅避難できる準備を整えておく事も大切です。

【最近の身近な大地震】

- ① H23.3.12：長野県北部地震：震度6強、死者3名、負傷者12名、全壊34戸、半壊169戸、一部損壊506戸
- ② H23.6.30：長野県中部地震：震度5強、死者1名、負傷者14名、全壊0戸、半壊24戸、一部損壊6,117戸
- ③ H26.11.22：白馬神城地震：震度6弱、死者0名、負傷者46名、全壊42戸、半壊35戸、一部損壊164戸

■阪神・淡路大震災でけがをした人の原因

(神戸市消防局調査より)



《 地震発生時の区民の行動 》

震度5弱以上の地震が発生した場合、【区民は自主的に下記行動実施】
【区は、柏矢町会館に災害対策本部を設置】

地震発生 ⇒ 自身と家族の安全確保を最優先に行う

【地震が収まったら】

1. 火を使っている時は、揺れが収まってから、火の始末をする ⇒ 出火時は初期消火を行い、延焼時は大声で知らせる
2. 窓や玄関を開け、出口を確保する
3. 向う3軒両隣へ声掛けを行い、被災者がいる場合は救出活動、並行して災害対策本部へ支援要請
(**柏矢町会館☎：82-1353**)
⇒ 救出活動時、2次災害に注意し、決して無理をしない
4. 独居老人宅への安否確認
5. 各地区避難場所に集合し、隣組長に安否報告
6. 隣組長は安否情報を柏矢町会館災害対策本部に報告
7. 隣組長は建物等の被災状況を確認 ⇒ 本部報告
8. 救助作業等に協力できる方は、柏矢町会館に集合
9. 情報収集 ⇒ TV、スマホ等で正しい情報の収集
10. 避難時は火災防止の為、ガスの元栓を閉じ、電気のブレーカーを切る

無事です

玄関に掲示後、各地区避難場所に集合

・災害発生時 ⇒ 全員無事ならこのカードを玄関に掲示

・**救助が必要な場合**

⇒ 隣組長・部落長・ご近所さん等に連絡
(柏矢町会館☎：82-1353)